

4月からの凍霜害による果樹等の被害状況と対策について

1 果樹等の被害状況

4月当初からの連続的な低温や降霜により、県内各地で、りんご、なし等の果樹を中心に、凍霜害が発生。

暖冬の影響で生育が進み、開花前後に複数日が氷点下となったことによる直接的な被害に加え、開花中(4月中下旬)の気温が低く、受粉に必要な昆虫の活動が鈍ったことなどにより、被害が拡大。

【3月下旬の日平均気温(長野)】 本年9.9℃、平年5.6℃

【りんご(ふじ)開花日※】 本年4月17日、平年4月28日 ※果樹試験場(須坂)

【4月中下旬(20日間)の日最高気温が20℃未満の日数(長野)】 10日 ※ミツバチの活動適温:20℃~25℃

＜観測地点別 主な被害発生日の最低気温＞

(単位:℃)

観測地点 (標高m)	佐久 (683)	立科 (715)	飯田 (516)	飯島 (728)	伊那 (633)	辰野 (732)	松本 (610)	松本 ^(今井) (658)	大町 (784)	長野 (418)	飯山 (313)
観測日											
4月6日(火)	-3.1	-6.3	1.0	-1.0	-1.2	-0.7	-1.3	-4.4	-3.3	-1.1	-1.9
4月10日(土)	-4.2	-2.0	1.6	-1.1	-1.6	-1.0	-2.5	-5.3	-5.1	-2.1	-2.5
4月15日(木)	-1.5	-0.1	3.5	1.1	0.7	0.7	-0.4	-2.6	-2.5	0.7	-1.0
4月27日(火)	-2.0	-4.3	2.5	0.2	0.0	-0.7	0.0	-3.3	-2.6	0.2	-1.8

＜被害発生状況(6月3日確定値):36市町村＞

(単位:千円)

地域 振興局	果樹被害		野菜等被害		被害額 合計(割合)	主な被害作物[被害額]
	面積	金額	面積	金額		
佐久	264.9ha	237,764	4.8ha	2,158	239,922 (11.8%)	りんご[165,549]、ブルーベリー[46,778]
上伊那	114.1ha	45,454	-	-	45,454 (2.2%)	りんご[26,068]、なし[19,167]
南信州	46.2ha	27,009	-	-	27,009 (1.3%)	なし[23,221]、りんご[3,788]
松本	953.0ha	1,131,509	657.1ha	33,561	1,165,070 (57.3%)	りんご[907,373]、なし[166,048]
北アルプス	71.0ha	52,038	3.0ha	291	52,329 (2.6%)	りんご[52,038]、アスパラガス[291]
長野	544.7ha	229,129	20.5ha	2,963	232,092 (11.4%)	りんご[128,616]、あんず[64,121]
北信	624.0ha	225,996	54.8ha	43,992	269,988 (13.3%)	りんご[68,889]、すもも[54,943]
合計	2,617.9ha	1,948,899	740.2ha	82,965	2,031,864 (100.0%)	

※上田、諏訪、木曾は被害報告なし

＜品目別の被害発生状況(6月3日確定値)＞

(単位:千円)

品目	りんご	なし	もも	あんず	すもも	おうとう	その他*	合計
面積	2,084.0ha	120.1ha	96.0ha	62.0ha	46.4ha	11.3ha	938.3ha	3,358.1ha
被害額 (割合)	1,352,322 (66.5%)	252,634 (12.4%)	85,787 (4.2%)	64,261 (3.2%)	56,331 (2.8%)	54,475 (2.7%)	166,054 (8.2%)	2,031,864 (100.0%)

※その他:ブルーベリー、シャクヤク、小麦、ぶどう、アスパラガス、大麦、かき、ヒベリカム

2 凍霜害を受けた農家への支援 (R3. 8. 19 現在)

- 方針1 市町村、生産者団体と連携・協調して、被害農家の経営への影響を極力軽減する。
- 方針2 被害を受けた農家が今後も営農を継続できるよう対応する。
- 方針3 今後の自然災害に対応できる、災害に強い産地づくりを推進する。

I 緊急的な対策 (継続実施中)

1 技術・経営対策

- ① 事前対策及び被害発生後の技術対策の発出 (4/7, 4/11, 4/26, 4/28)
- ② 農業農村支援センターが生産者団体と連携し、栽培管理等の技術指導を実施
- ③ 農業農村支援センターに凍霜害に関する相談窓口設置 (5/28)

2 追跡調査・営農実態把握

- ① 被害樹園地での生育状況の追跡調査 **【28 園地】**
- ② 経営への影響が大きい農家(農業総収入 50%以上の損失)や大規模農家の実態調査 **【79 経営体】**
→調査項目：実施した被害防止対策と効果、経営の影響や共済・収入保険の加入状況等

II 今年の生産・販売に向けた対策

1 被害農家の経営安定対策

- ・営農継続に向けた営農資金への利子助成 **検討中**
- ・果樹共済の早期支払いについて、国及び農業共済組合に対して要請

2 被害果実の流通・販売対策

- ・被害果実の有利販売のための支援 **検討中**

3 技術指導・技術対策

- ・着果量に応じた栽培管理技術や次年度に向けた樹勢管理などの技術指導

III 来年から将来に向けた対策

1 果樹共済や収入保険などセーフティネットへの加入促進

- ・JA部会を対象とした重点周知・加入推進
- ・収入保険への加入つながる青色申告記帳支援

2 防霜ファンの整備推進 (果樹経営安定支援事業 (国庫事業：1/2 補助))

3 災害に強い生産・経営基盤づくり支援

- ・次年度以降の凍霜害に備えた効果的な対策の周知(研修会の開催等) **検討中**